

伊那谷にゾウがいた頃（第四紀）

第四紀は、258 万年前以降現在まで続いている地質時代です。飯田下伊那にはまだ人類がいない頃で、時々、北アルプスや九州から飛来した火山灰が降り積もりました。およそ 200 万年前以降の飯田下伊那には、ゾウやシカなどの野生動物がいた痕跡がみられます。飯田下伊那と、関東やその他の地域とを比べながら、この時代を振り返ります。



180 万年前当時の景観想像図（林 敬子画）



講師：小泉 明裕（飯田市美術博物館学芸員）

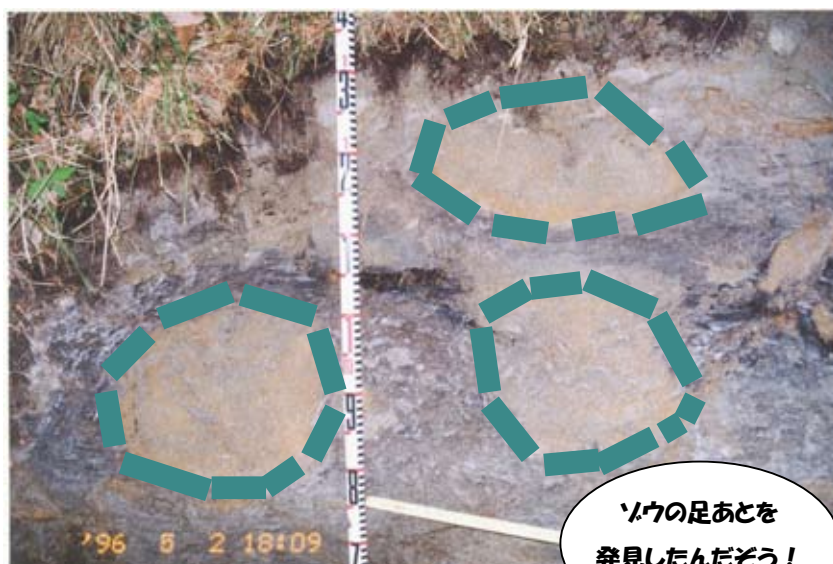
日時：9月14日（土）午後1時30分～3時

場所：飯田市美術博物館講堂 聴講無料（申込不要）

どなたでも参加できます。



喬木村の富田火山灰層（人物の左足から上が火山灰層）



下久堅小林のゾウ足跡を発見！（発見時の写真）

ゾウの足あとを
発見したんだぞう！



カモシカくん



飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町 2-655-7

TEL 0265-22-8118 FAX 0265-22-5252 <http://www.iida-museum.org/>

次回の自然講座は10月26日（土）、当館客員研究員・坂本正夫氏の「新しい活断層発見から見た伊那谷の断層」です。